

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年7月1日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	公益財団法人 仙台観光国際協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 宮城県仙台市	
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町 3-3-20 東日本不動産仙台一番町ビル 6 階	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	72 人【役員 3 人、正職員 34 人、嘱託職員 28 人、派遣 4 人、出向 2 人、臨時職員 1 人】	
代表者	結城 由夫「専従」 役職：理事長	前仙台市消防局長として、1000 人を超える消防局員を組織するなど卓越したマネジメント力及び危機管理能力を有する。地域住民や多様な事業者との調整・折衝を行った経験から、地域の合意形成を図る調整力を備える。これまでの経験を踏まえ、宿泊・旅館業を中心として観光にかかわる多様な主体と連携を図りながら多角的な視点での観光推進を図る。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー	川口 順弘「専従」 役職：DMO 担当部長兼 観光地域づくり推進課長  (出身組織名) 仙台市	仙台市から（公財）仙台観光国際協会に派遣。仙台市の観光行政において、2019 年に策定された「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」に基づき、体験プログラムの創出やデジタルマーケティングなど新規事業の立ち上げを担当。「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024」においても、観光地域づくりの一環である「エリア別ブランディング」プロジェクトや「観光×デジタル」プロジェクト、観光地域づくりの推進に携わり、各種データを踏まえた観光地域づくりに取り組んでいる。

財務責任者 (CFO: チーフ・フィナンシャル・オフィサー)	前川由香子「専従」 役職: 総務課長	仙台観光国際協会の固有職員として長年勤務。とりわけ、総務関係の事務に従事し、財務管理に長けており、2022 年より財務会計事務を含めた総務部門の実務的な責任者である。当協会の総務課長として、法人の安定的な運営や財源確保に取り組んでいる。
観光事業部門の責任者	小松 智「専従」 役職: 観光事業部長 (出身組織名) 近畿日本ツーリスト株式会社	近畿日本ツーリスト(株)から(公財)仙台観光国際協会に派遣。観光事業部門の責任者として国内外の誘客プロモーションや新規コンテンツの開発など受入れ環境整備を統括している。
MICE 事業部門の責任者	中尾 優美子「専従」 役職: MICE 推進課長	(公財)仙台観光国際協会の固有職員。MICE 事業部門の責任者として MICE 誘致や受入支援などを統括している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<b>■仙台市</b> 文化観光局〔観光交流部(観光課・誘客戦略推進課)・東北連携推進室・文化スポーツ部(スポーツ振興課・文化振興課)〕、まちづくり政策局、市民局、経済局、都市整備局、建設局、交通局、教育委員会、危機管理室 <b>■宮城県</b> 経済商工観光部	
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県観光連盟(地域連携DMO・広域観光プロモーション)</li> <li>・東北観光推進機構(広域連携DMO・広域観光プロモーション)</li> <li>・インアウトバウンド東北(地域連携DMO・地域連携プロモーション)</li> <li>・仙台商工会議所(まちなか活性化)</li> <li>・仙台市中心部商店街活性化協議会(受入環境整備・まちなか活性化)</li> <li>・仙台国際空港株式会社(一次交通)</li> <li>・仙台市交通局(二次交通 地下鉄・路線バス)</li> <li>・宮城県バス協会(二次交通 路線バス)</li> <li>・仙台ホテル総支配人協議会(観光地経営・MICE 誘致)</li> <li>・秋保温泉旅館組合(観光地経営)</li> <li>・作並温泉旅館組合(観光地経営)</li> <li>・観光関連団体(観光地域づくり・観光プロモーション)</li> <li>・商工団体(まちなか活性化・受入れ環境整備)</li> <li>・宿泊事業者(受入れ体制の整備・MICE 誘致・おもてなし)</li> <li>・観光関連事業者(観光地域づくり・滞在型観光振興)</li> <li>・農業関連事業者(観光コンテンツ・特産品開発)</li> <li>・交通事業者(一次、二次交通体制の整備)</li> <li>・「歩いて発見伊達な街推進会議」「秋保クラフトバレー推進会議」「作並・定義リトリート推進会議」「せんだい海の手ネットワーク」(地域ブランドの確立に向けた取組み)</li> </ul>	

官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】</p> <p>①仙台の観光関連産業に関係が深い団体等の役員を中心に評議員 16 名、理事 13 名、監事 2 名を構成し、協会の運営及び事業について意思決定を行っている。</p> <p>※直近の理事会及び評議員会の開催実績（令和 4 年）</p> <p>令和 5 年 4 月 1 日（土） 第 28 回理事会  令和 5 年 4 月 1 日（土） 第 15 回評議員会  令和 5 年 5 月 24 日（水） 第 29 回理事会  令和 5 年 6 月 21 日（水） 第 16 回評議員会  令和 6 年 3 月 26 日（火） 第 30 回理事会  令和 6 年 4 月 1 日（月） 第 31 回理事会／第 17 回評議員会  令和 6 年 5 月 23 日（木） 第 32 回理事会  令和 6 年 6 月 12 日（水） 第 18 回評議員会</p> <p>②仙台の観光関連産業に関係する、観光施設・旅行会社・宿泊事業者・小売事業者・交通事業者、商工会議所、行政等の幅広い分野の関係団体各種ステークホルダーをメンバーとする専門委員会を設置している。</p> <p>③DMO推進会議</p> <p>DMOとしての事業の取り組み方針や事業報告、KPI の進捗などについて仙台市（観光交流部長、東北連携推進室長、誘客戦略推進課長、観光課長）・DMO（事務局長、観光事業部長、MICE 事業部長、総務部長、DMO 担当部長）で検討する「DMO 推進会議」において事務局長をトップに開催している。</p> <p>令和 5 年 9 月 1 日（金）  令和 5 年 10 月 13 日（金）  令和 5 年 11 月 22 日（水）  令和 6 年 1 月 11 日（木）  令和 6 年 3 月 13 日（水）  令和 6 年 4 月 24 日（水） ※参加者 16 名  令和 6 年 5 月 27 日（月） ※参加者 18 名  令和 6 年 6 月 25 日（火） ※参加者 17 名</p> <p>&lt;開催実績&gt;</p> <p>○観光専門委員会  日時 令和 6 年 8 月（予定）</p> <p>○物産専門委員会  日時 令和 5 年 7 月 12 日（水） 実施 8 名参加  議題 「令和 4 年度物産事業報告及び令和 5 年度物産事業計画について」</p> <p>工業部会  日時 令和 5 年 9 月 19 日（火） 実施 4 名参加</p> <p>○MICE 専門委員会  日時 令和 5 年 6 月 29 日（木） 実施 12 名参加  議題 「MICE 業界における課題と今後の対策」</p> <p>日時 令和 6 年 3 月 13 日（水） 実施 12 名参加  議題 「令和 6 年度事業について」「MICE 推進に関する意見交換」</p>
-----------------------------------	---

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>データに基づく、持続可能な観光地域づくりを目指すため、デジタルマーケティングレポートを4半期に1回作成している。仙台市で調査を実施したものの分析やレポート概要版・速報版については住民の誰もが閲覧可能なDMOのホームページに一般公開し、地域における観光意識の醸成に取り組んでいる。また、調査の詳細版やDMOが独自調査したレポートなどについては賛助会員限定ページに掲載している。</p> <p>令和5年6月 「令和4年度 仙台市観光実態調査の分析」 「令和4年度下期（10月～3月）仙台観光動向レポート（概要版・詳細版）」</p> <p>令和5年9月 「令和4年度 仙台市光のページェント広告の効果検証の分析」 「マクロミルによる光のページェント実態調査概要版」</p> <p>令和5年12月 「令和4年度 仙台市学生旅行広告の効果検証の分析」 「令和5年度上期 仙台観光動向レポート」</p> <p>令和6年3月 「令和5年 仙台観光実態調査 速報レポート」</p> <p>その他、令和5年7月11日に開催された市民も参加可能な「仙台市交流人口ビジネスコンテスト授賞式」において、上記デジタルマーケティングレポート内容について講演をした。</p> <p>観光協会(DMO)の中期ビジョンの目標である「選ばれる街仙台～交流人口で潤う都市」の実現に向けた取組みである、エリアごとの特徴や魅力を最大限発揮するための地域ブランディング「エリア別ブランディング」ワークショップを令和4年度から継続して開催している。令和5年度は地域と来訪者のブランドイメージがあっているかどうかを確認するため、対面でのアンケート調査を実施し、ブランドイメージにギャップがないことを確認するとともに、それぞれのエリアのロゴマークを作成しエリア別ブランディングの周知を行った。</p> <p>●アンケート調査</p> <p>仙台市東部 : 回答数 417件 仙台市中心部 : 回答数 381件 仙台秋保地区 : 回答数 410件 作並・定義地区 : 回答数 388件</p> <p>令和6年度は観光庁事業（「観光新発見事業」等）を活用しながら、各エリアのブランド確立に向けた具体的な取組みに着手する。</p>						
法人のこれまでの活動実績	<p><b>【活動の概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <p>■国内観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市等における誘客プロモーション事業</li> <li>・首都圏並びに近県における誘客プロモーション事業など</li> </ul> <p>■海外観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ、台湾を中心とした海外プロモーション事業</li> <li>・インセンティブツアー関係者招請事業など</li> </ul> <p>■MICE 誘致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外におけるコンベンション誘致セールス事業</li> <li>・コンベンション主催者招請事業など</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>受入環境の整備</td><td> <p>■国内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム推進事業（2019年度より）</li> </ul> <p>地域の歴史・文化・自然など多彩な仙台の魅力を五感で体感する体験プログラム1,000本の創出を目標とした事業（2023年度末現在創出総数1,581本、その内823本が仙台市内）</p> </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<p>■国内観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市等における誘客プロモーション事業</li> <li>・首都圏並びに近県における誘客プロモーション事業など</li> </ul> <p>■海外観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ、台湾を中心とした海外プロモーション事業</li> <li>・インセンティブツアー関係者招請事業など</li> </ul> <p>■MICE 誘致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外におけるコンベンション誘致セールス事業</li> <li>・コンベンション主催者招請事業など</li> </ul>	受入環境の整備	<p>■国内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム推進事業（2019年度より）</li> </ul> <p>地域の歴史・文化・自然など多彩な仙台の魅力を五感で体感する体験プログラム1,000本の創出を目標とした事業（2023年度末現在創出総数1,581本、その内823本が仙台市内）</p>
事業	実施概要						
情報発信・プロモーション	<p>■国内観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市等における誘客プロモーション事業</li> <li>・首都圏並びに近県における誘客プロモーション事業など</li> </ul> <p>■海外観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ、台湾を中心とした海外プロモーション事業</li> <li>・インセンティブツアー関係者招請事業など</li> </ul> <p>■MICE 誘致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外におけるコンベンション誘致セールス事業</li> <li>・コンベンション主催者招請事業など</li> </ul>						
受入環境の整備	<p>■国内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム推進事業（2019年度より）</li> </ul> <p>地域の歴史・文化・自然など多彩な仙台の魅力を五感で体感する体験プログラム1,000本の創出を目標とした事業（2023年度末現在創出総数1,581本、その内823本が仙台市内）</p>						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市観光情報センター（カテゴリー３）の運営など</li> </ul> <p>■海外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語観光パンフレットの作成</li> <li>・外国語接客支援ツールの作成</li> <li>・インバウンド対応力向上セミナーの開催 など</li> </ul> <p>■MICE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド会議助成事業（2021 年度より）</li> <li>・MICE サポートセンター運営事業</li> <li>・コンベンション受入施設との情報交換会の実施 など</li> </ul>
観光資源の磨き上げ	<p>■国内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ボランティアガイド活動促進事業</li> <li>・産学官連携によるコンテンツ創出事業</li> </ul> <p>■海外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人向け体験コンテンツの創出</li> </ul> <p>■MICE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなユニークベニューの開拓</li> <li>・仙台ならではのエクスカージョンの提案 など</li> </ul>

## 【定量的な評価】

## 【観光客の実態等】

## ■観光客入込客数

(単位：人，％)

令和２年		令和３年		令和４年		令和５年	
入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比
8,382,086	38.4	13,162,162	157.0%	19,215,516	146.0%	25,233,320	131.3%

## ■宿泊者数

(単位：人，％)

	令和２年		令和３年		令和４年		令和５年	
区分	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
旧仙台市内	2,770,565	56.7	2,927,027	105.6%	3,795,883	129.7%	4,872,083	128.4%
秋保地区	540,198	63.3	469,888	87.1%	651,078	138.3%	712,696	109.5%
宮城地区	101,622	47.7	49,792	46.5%	91,689	184.1%	139,027	151.6%
合計	3,567,090	57.1	3,634,240	101.9%	4,766,862	131.2%	6,004,244	126.0%

## ■外国人宿泊者数

(単位：人，％)

令和２年		令和３年		令和４年		令和５年	
宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
71,010	21.2	18,306	25.8%	34,303	187.4%	338,559	986.9%

## ■イベント状況

(単位：千人)

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
仙台・青葉まつり	0	0	433	870
仙台七夕まつり	0	1341	2,250	2,269
SENDAI 光のページェント	225	1,142	1,700	2,000
定禅寺ストリートジャズフェスティバル	0	0	200	550
みちのく YOSAKOI まつり	0	0	250	390

## ■仙台市観光情報センター利用状況

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
案内件数	64,115	45,654	109,834	107,758
うち外国人	4,055	1,714	4,580	18,308

## ■交通機関利用状況

## (１) JR 仙台駅旅客輸送状況（日平均、定期利用者含む）

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
新幹線乗車人員	12,422	14,494	19,944	更新予定

※東日本旅客鉄道㈱資料

## (2) 仙台空港利用実績

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
国内線	乗客数	608,807	825,785	1,386,367	未公表
	降客車数	609,083	825,622	1,392,575	未公表
	計	1,217,890	1,651,407	2,778,740	3,175,930
国際線	乗客数	0	2	7,106	未公表
	降客車数	0	0	7,925	未公表
	計	0	2	15,031	373,696
合計	乗客数	608,807	825,787	1,393,473	未公表
	降客車数	609,803	825,622	1,400,500	未公表
	計	1,217,890	1,651,409	2,793,973	3,549,626

※国土交通省空港管理状況調書 ※国際線にはチャーター便含む

## (3) 仙台市観光シティーバス（るーぶる仙台）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
乗車人員	202,049	206,898	305,703	444,917

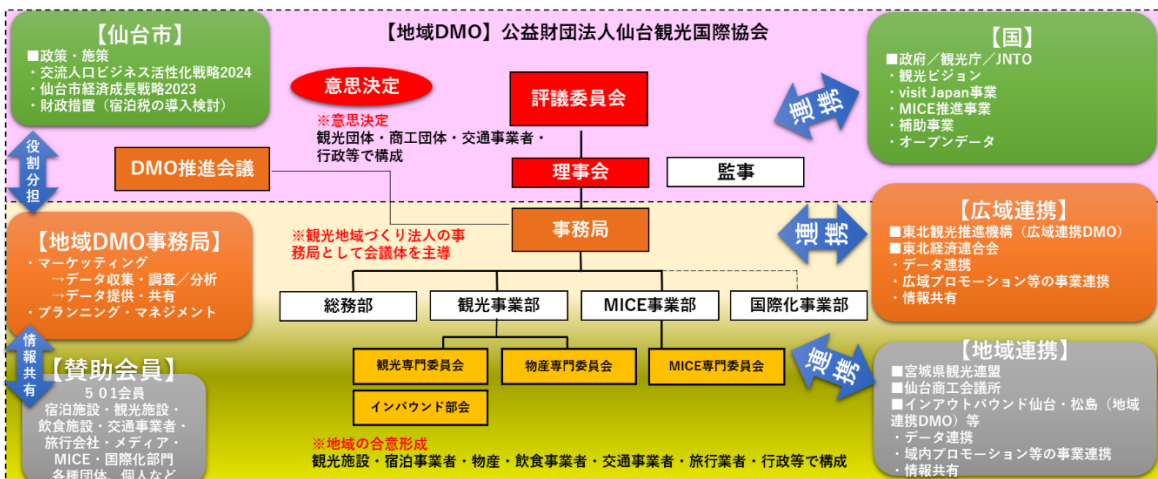
※仙台市観光課資料

実施体制  
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

## 【実施体制の概要】

（公財）仙台観光国際協会を地域DMOと位置づけ、行政の政策目標である地域の観光と経済の活性化を目的とした「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」の実現を目指す。民間事業者を中心とする賛助会員や地域民間事業者ともビジョンの達成目標とロードマップを共有し合意形成を図るなど、多様な分野の関係者が参画する官民が連携した運営を行う。

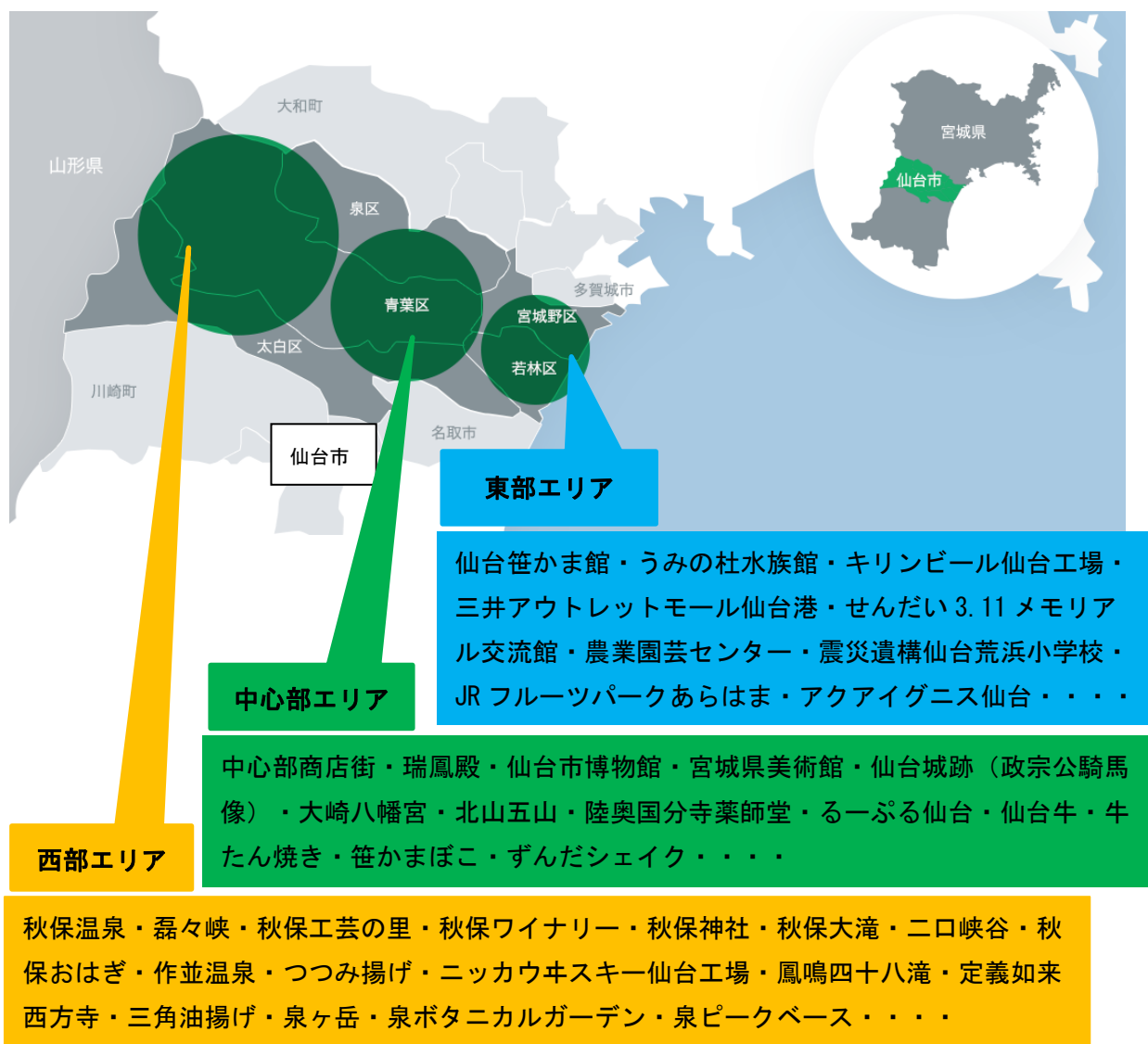
## 【実施体制図】





## 2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

仙台市は、仙台市中心部エリア、秋保・作並温泉を含む西部エリア、そして震災からの復興が続く東部エリアの3つの観光エリアに大別され、各域内には多様な観光資源が存在する。令和4年度に、それぞれの地域の関係者によるブランディングワークショップを開催し、各エリアのブランドコンセプトを策定した。東北のゲートウェイとして各隣接県との広域連携も含め、今後、これらのビジョンを活かした各エリア間における連携事業と、各エリアの魅力磨き上げや受入環境整備を実施するにあたり、地域DMOのエリアマネジメントの範囲として、適切な区域設定と考える。なお、プロモーションについては近隣市町村・宮城県・東北観光推進機構などと連携し面による展開を図っていく。

<各エリアのブランドコンセプト>

- ・仙台市中心部エリア：「歩いて発見 伊達なまち～あなたのとっておきを見つけよう～」
- ・仙台市東部エリア：「くらしに+せんだい海手リゾート宣言」
- ・仙台西部エリア（秋保地区）：「秋保クラフトバレー～Craftsmanship&nature～」
- ・仙台西部エリア（作並・定義地区）：「ゆっくりじっくり作並・定義リトリート」

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント、体験プログラム等】

## ■観光資源

	カテゴリー	名称
仙台市中心部エリア	観光・商業施設	るーぷる仙台、瑞鳳殿、仙台市博物館、仙台城跡（伊達政宗公騎馬像）、大崎八幡宮、せんだいメディアテーク、定禅寺通り、勾当台公園、仙台市中心部商店街（アーケード商店街）エスパル仙台、パルコ、アエル、藤崎百貨店、仙台三越、仙台大観音、フィギュアスケートモニュメント
	自然	青葉山、広瀬川
	歴史・文化	瑞鳳殿、仙台城跡、大崎八幡宮、北山五山、陸奥国分寺薬師堂、輪王寺
	食	仙台牛たん焼き、笹かまぼこ、ずんだ餅、仙台長なす漬け、冷やし中華、仙台づけ丼、仙台マーボ焼そば、仙台あおば餃子、仙台せり鍋、仙台駄菓子、国分町、BAR Hopping（飲み歩き）
	イベント	仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント、みちのく YOSAKOI まつり、仙台初売り、どんと祭、仙台クラシックフェスティバル、仙台国際音楽コンクール
	スポーツ	ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台 89ERS、マイナビベガルタ仙台レディース、仙台国際ハーフマラソン、全日本大学女子駅伝、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）、ツール・ド・東北
	体験プログラム	まち歩きツアー、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等（287 件）
仙台市西部エリア	観光・商業施設	秋保・里センター、万華鏡美術館、秋保ビレッジ、秋保ワイナリー、アキウ舎、秋保工芸の里、天守閣自然公園、秋保大滝植物園、秋保ビジターセンター、湯のまち作並観光交流館ラサンタ、岩谷堂穴薬師、ニッカウキスキー仙台工場、泉ボタニカルガーデン、仙台泉プレミアムアウトレット、泉パークタウンタピオ、泉ピークベース、GREAT DANE BREWING
	自然	二口峡谷、磐司岩、大東岳、秋保大滝、磊々峡、船形山、鳳鳴四十八滝、鎌倉山（ゴリラ山）、ニツ岩遊歩道、泉ヶ岳
	歴史・文化	秋保大滝不動尊、秋保神社、湯神神社、第二広瀬川橋梁（熊ヶ根鉄橋）、定義如来（西方寺）、秋保の田植踊、福岡の鹿踊・剣舞
	食	秋保おはぎ、秋保ワイン、秋保在来そば、秋保米、つつみ揚、串だんご、ニッカウキスキー、三角定義あぶらあげ、定義味噌焼きおにぎり、秋保クラフトビール
	イベント	まつりだ秋保、仙台秋保そばフェス、アキウクラフトフェア手ん店、秋保ナイトミュージアム、作並駅感謝祭、定義ホテル祭り、泉ヶ岳 悠・遊フェスティバル
	スポーツ	みやぎ湯めぐりウルトラマラソン、作並温泉トレイルランニング、スキー・スノーボード、ジップライン（泉ヶ岳）、SUP



	体験プログラム	アウトドア・アクティビティ、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等（133 件）
仙 台 市 東 部 エ リ ア	観光・商業施設	鐘崎総本店笹かま館、仙台うみの杜水族館、三井アウトレットパーク仙台港、キリンビール仙台工場、夢メッセみやぎ、せんだい 3.11 メモリアル交流館、農業園芸センター、震災遺構仙台市立荒浜小学校、JR フルーツパーク仙台あらはま、アクアイグニス仙台
	自然	深沼海岸
	歴史・文化	貞山運河（貞山堀り）
	食	はらこめし、仙台せり、仙台曲がりねぎ
	イベント	荒浜灯籠流し、荒浜打ち上げ花火
	スポーツ	海岸公園サイクリングロード、海外公園野球場、ガモウパーク、海岸公園パークゴルフ場、海岸公園馬術場、海岸公園冒険広場デイキャンプ場
	体験プログラム	震災伝承・防災体験プログラム等（85 件）

### ■活用方法

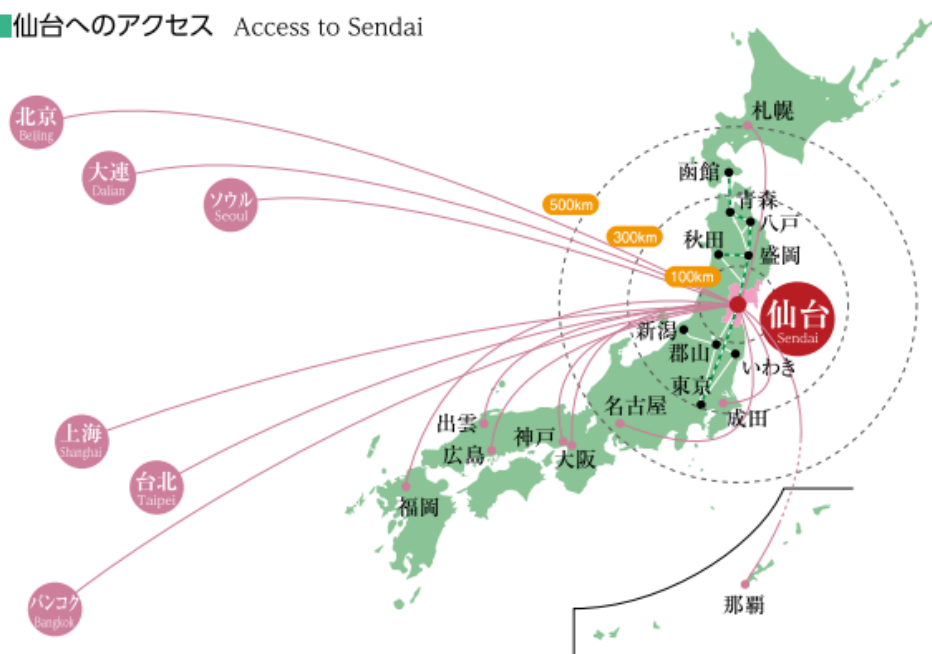
各エリアのエリアブランディングに基づき、観光資源の磨き上げを図る。また、各エリアの連携事業を推進し、仙台全体としての魅力向上を図り、滞在型観光の促進を図っていく。

### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】（2023 年 10 月 1 日現在）

区分	旅館・ホテル・簡易宿所		その他宿泊施設（民泊）		合計	
	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数
青葉区	84	17,766	20	－	104	17,766
うち作並温泉	7	2,062	0	－	7	2,062
宮城野区	22	4,103	0	－	22	4,103
若林区	7	2,344	4	－	11	2,344
太白区	7	527	10	－	17	527
うち秋保温泉	21	6,638	1	－	22	6,638
泉区	9	1,599	3	－	12	1,599
全市	157	35,039	38	－	194	35,039

## 【利便性：区域までの交通、域内交通】

## ■仙台へのアクセス Access to Sendai



## ■空路（仙台国際空港：仙台市内まで仙台空港アクセス鉄道にて28分）

## （国内線）

・ 札幌（新千歳）—仙台	1 時間 10 分	（16 往復/日）
・ 東京（成田）—仙台	1 時間	（2 往復/日）
・ 新潟—仙台	45 分	（1 往復/日）
・ 名古屋（中部）—仙台	1 時間 5 分	（6 往復/日）
・ 大阪（関西）—仙台	1 時間 20 分	（3 往復/日）
・ 大阪（伊丹）—仙台	1 時間 10 分	（16 往復/日）
・ 神戸—仙台	1 時間 20 分	（2 往復/日）
・ 出雲—仙台	1 時間 25 分	（1 往復/日） ※運休中
・ 広島—仙台	1 時間 20 分	（2 往復/日）
・ 福岡—仙台	1 時間 40 分	（7 往復/日）
・ 沖縄（那覇）—仙台	2 時間 30 分	（1 往復/日）

## （国際線）

・ ソウル—仙台	2 時間 10 分	（7 往復/週）
・ 上海—仙台	2 時間 45 分	（2 往復/週）
・ 北京—仙台	5 時間 10 分	（2 往復/週）
・ 大連—仙台	2 時間 35 分	（2 往復/週）
・ 台北—仙台	3 時間 10 分	（17 往復/週）
・ バンコク—仙台	5 時間 41 分	（3 往復/週） ※運休中

## ■鉄道（新幹線）

・ 東京—仙台	1 時間 30 分
・ 秋田—仙台	2 時間 7 分
・ 新函館北斗—仙台	2 時間 27 分
・ 金沢—大宮—仙台	3 時間 30 分

## ■高速バス

・ 青森—仙台	6 時間 15 分
・ 秋田—仙台	3 時間 35 分
・ 盛岡—仙台	2 時間 27 分
・ 山形—仙台	1 時間 10 分



- ・福島 - 仙台 1 時間 26 分
- ・東京—仙台 4 時間 34 分

#### ■自動車

- ・青森（青森 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 3 時間 49 分
- ・秋田（秋田中央 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 2 時間 56 分
- ・盛岡（盛岡 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 1 時間 52 分
- ・東京（箱崎料金所）—仙台（仙台宮城 IC） 4 時間 13 分

#### 【外国人観光客への対応】

JR 仙台駅構内に設置している「仙台市観光情報センター（カテゴリー 3）」と仙台国際センター内に設置している「仙台多文化共生センター（カテゴリー 2）」は、共に日本政府観光局認定外国人観光案内所のカテゴリーに認定されており、外国人観光客に対し、様々な情報提供を行っている。

また、仙台の公式観光情報サイトである「せんだい旅日和」及び「Discover SENDAI」や各種 SNS による多言語での情報発信のほか、仙台市中心部では、フリーWi-fi 設備の整備が実施されている。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	域内旅行消費額を把握	アンケート調査により取得
延べ宿泊者数	域内延べ宿泊客数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
来訪者満足度	域内における旅行満足度を把握	アンケート調査により取得
リピーター率	域内における再訪率を把握	アンケート調査により取得
国内人流データ	国内観光客の人流動態の把握	外部システムより取得
仙台市観光客入込数	域内観光客入込数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市外国人宿泊者数	域内外国人宿泊者数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市内宿泊施設数	域内宿泊施設数の実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市主要イベント集客数	主要イベントの実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
コンベンション開催状況	域内コンベンション開催件数の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
交通機関利用状況	域内交通機関の利用状況の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
WEB サイトのアクセス状況	アクセス解析による関心層の把握	Google アナリティクスより取得
来訪者満足度調査	プロモーション等の効果測定	独自調査にて取得

### 4. 戦略

#### （1）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により、インバウンドの回復が顕著であり、令和 5 年の宿泊者数は、コロナ禍前の令和元年の数値に近い水準までに回復しているが、訪日外国人占める割合は決して高くない。今後の人口減少に加え、都市間の誘致競争も激しくなる中、仙台市の地域経済を持続的に発展させるためには、コロナ禍で影響を受けた国内外の交流人口を早期に回復させ、さらに拡大させていくことが重要である。仙台市は、今後の目指す姿を「交流人口で潤う都市」と位置付け、2024 年までに市内の年間延べ宿泊者数を過去最高の 650 万人泊とすることを目標としている。

本法人は地域 DMO として、多様な個人旅行のニーズに対する対応や、教育旅行・インセンティブツアー等の団体旅行、MICE などによる集客促進とインバウンドによる消費拡大を図るため、観光資源の把握・動態分析等により観光需要との最適化をはかり、地域のブランド力の強化→人材育成→集客→交流人口の拡大→消費拡大といった PDCA サイクルによる持続可能な地域づくりを行い、選ばれる街仙台を目指す。

## (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏から新幹線で約1時間30分の立地。</li> <li>・東北のゲートウェイとして、東北各都市と高速バスで結ばれている。</li> <li>・県内の高速道路網が整備されている。</li> <li>・市内に秋保温泉・作並温泉と2大温泉地を抱えている。</li> <li>・エリアごとの多彩な観光資源</li> <li>・豊かな自然に恵まれた都市環境</li> <li>・多彩なイベントの実施</li> <li>・仙台の地に根付いた伊達文化及び伝統工芸や物産</li> <li>・東北大学など教育機関や研究開発拠点が集積</li> <li>・東北の空の玄関口として仙台国際空港がある。</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての認知度が低い</li> <li>・観光面のランドマークの不足</li> <li>・近隣市町村等エリア間の連携不足</li> <li>・宿泊に繋がる朝・夜のコンテンツが不足</li> <li>・受入施設、看板表示等の外国語対応の遅れ</li> <li>・海外での認知度不足</li> <li>・インバウンド対応商品の不足</li> <li>・コンベンション施設の不足</li> <li>・バンケットが可能な施設・ホテルの減少</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉山エリアおよび仙台市内中心部における再開発の進展</li> <li>・ホテル建設の増加</li> <li>・政府系国際会議の開催地として選定</li> <li>・大型イベントの開催地に選定</li> <li>・旅行形態の変化 団体⇒個人 モノ消費⇒コト消費へ</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大による影響</li> <li>・人口減少と高齢化</li> <li>・物価上昇</li> <li>・ニーズの多様化によるターゲット選定、アプローチの難しさ</li> <li>・観光人材不足</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

## (3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 首都圏及び東北圏域からの観光客及びビジネス客</p>
<p>○選定の理由 令和3年度に仙台市が構築、運用を開始した仙台市観光DMPの来訪者動向分析の結果（令和5年度動態データ調べ）、首都圏からの来訪が21.1%、東北圏域からの来訪が34.0%で、首都圏、東北地域で6割近くの来訪比率を占めていることから、ターゲットとして選定する。新型コロナウイルスにより落ち込んだ交流人口の回復を図るため、東北圏域からの誘客と併せて首都圏の観光客の誘客促進を図ることで、仙台市内の観光経済の安定化を図る。</p>
<p>○取組方針 下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏及び東北圏域からの周遊目的の観光客</li> <li>・東北圏域のファミリー層</li> <li>・仙台を来訪するビジネス客・MICE参加者</li> <li>・仙台を訪れるリピート客</li> </ul>

<p>○第2ターゲット層 国内就航都市及び姉妹都市など関係都市からの観光客及び教育旅行者</p>	
<p>○選定の理由 仙台市観光 DMP のマーケティングから、仙台市観光情報サイト「せんだいたび日和」WEB 分析結果において令和5年度の閲覧全体の46.8%が首都圏からの閲覧であり、就航都市からの閲覧も24.0%である。この結果から、就航都市からの観光客をターゲットに選定した。また、就航都市以外にも、姉妹都市など仙台と関係が深い都市からの観光客の誘客を視野に、国内の交流人口の拡大を図っていく。</p> <p>○取組方針 下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市からの観光客</li> <li>・北海道及び東北圏域の教育旅行者</li> <li>・仙台を訪れるリピート客</li> <li>・仙台を訪れるビジネス客・MICE 参加者</li> </ul>	
<p>○第3ターゲット層 タイ・台湾を中心とした訪日外国人観光客</p>	
<p>○選定の理由 タイ、台湾ともに仙台市の重点市場であり、令和4年度に仙台市が実施した「タイ訪日観光客に関する調査結果報告書」から、特に訪日経験が増すほど、東京・大阪などゴールデンルート以外の都市への訪問意向・関心が高まることが分かり、これらの層を含め仙台・東北への来訪を促していく必要があると判断した。アフターコロナに向け、タイの仙台国際空港における国際定期路線再開に向けて取組みを強化しており、直行便の就航再開による旅行者数、宿泊者数の大幅な伸びが期待できる市場である。</p> <p>○取組方針 下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアを中心とした富裕層を含む訪日外国人観光客</li> <li>・東北を訪れる訪日外国人観光客</li> <li>・MICE 関係で来日する参加者</li> </ul> <p>※将来的な展開を見据え、東南アジアの他、欧米豪も視野に入れた取組みの推進。</p>	

#### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>選ばれる街仙台 ～交流人口で潤う都市～</p>
②コンセプトの考え方	<p>秋保温泉や作並温泉、秋保大滝や磊々峡、鳳鳴四十八滝といった雄大な自然景勝及び「秋保工芸の里」をはじめとした工芸品や秋保域内に広がるガラス工芸や陶芸などの手仕事関係、中心部の循環型観光バス「るーぷる仙台」を活用した都市観光、そして東部地域における「震災遺構仙台市立荒浜小学校」を拠点とした復興ツーリズム等に見られる様々な取組みといった仙台の地域ごとの特徴や、多種多様な魅力を最大限活用するため、エリアごとの特徴や魅力を深堀し、地域ブランディングを行うことにより、誘客促進、滞在期間の延長、再訪率の向上を図る。また、東北域内交流の活性化を図り、併せてタイ・台湾を中心としたインバウンドの更なる拡大を目指す。また、交流人口の「質」を重視した施策展開に注力するとともに、多様な関連事業者との連携の下で、交流人口で持続的に潤う都市を目指す。</p>



## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>評議員会・理事会 DMO推進会議 エリア別ブランディングワークショップ 観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会</p> <p>公益財団法人仙台観光国際協会の評議員及び理事は地域の多様な関係者で構成されており、意思決定の場として、評議員会を年1回、理事会を年2回開催している。</p> <p>また、多様な業種の関係者で構成される、観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会において「情報発信」「受入れ環境整備」「プロモーション」など戦略の共有、合意形成を図る。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>観光客を対象としたアンケート調査等を実施し、満足度や改善内容を把握する。また、その調査分析結果を宿泊施設、観光施設、飲食店など関係者に対して情報提供を行い共有することでサービス向上の好循環を図る。</p> <p>＜令和5年度外国人観光客対応力向上セミナーの開催＞</p> <p>●第1回 【日時】令和5年度9月20日（水）13：00～14：00 @仙台国際ホテル 【内容】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、急激に増加しているインバウンド需要を確実に取り込むため、誰でも簡単に始められる外国人観光客集客のポイントを共有した。観光関連事業者のスタッフ層からマネジメント層まで、またインバウンドに関心を持つイベント参加者を対象とした入門編セミナーを開催した。</p> <p>●第2回 【日時】令和6年3月8日（金）14：30～18：00 @仙台国際センター 【内容】 仙台地域で地域消費額を増やすため、事業者が受入れ体制の整備やコンテンツの創出などに取組むきっかけとなるよう、有識者による基調講演に加え、パネルディスカッションにて仙台的事業者による成功体験や情報の共有の場を設けた。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外に対して効果的に仙台の観光情報を発信するため、公式ホームページ（せんだい旅日和・Discover Sendai）やSNSを活用した情報発信を行う。</li> <li>・旅マエ、旅ナカ、旅アト、それぞれのシーンに応じて、観光客が求める情報を的確に発信する。</li> <li>・体験プログラムを実施する民間事業者や地域と連携し、各コンテンツの魅力的な情報発信を展開する。</li> <li>・仙台の伊達文化に息づく伝統工芸や銘品銘菓の普及と販路拡大を図る。</li> <li>・滞在型観光の推進のため、体験プログラムの利用促進に対して、旅行会社・メディアへのセールスコールの他、デジタルプロモーション広告等の支援を実施する。</li> <li>・観光DMPを活用し、観光動向にかかる様々なデータの収集・分析を行い、最新の状況データを共有することでマネジメント機能の強化を図る。</li> </ul>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。



## 6. K P I (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### (1) 必須K P I

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	( )	( )	257,299 (基準年)	373,744 (82,128)	373,744 (82,128)	373,744 (82,128)
	実績	( )	206,086 (-)	330,978 (55,610)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	6,242 (334)	6,500 (500)	6,500 (500)	6,500 (500)
	実績	3,631 (1.8)	4,780 (34)	6,004 (338)			
●来訪者満足度 (%)	目標	( )	95 (-)	68 (基準年)	77 (91)	78 (92)	79 (92)
	実績	95 ( )	67 ( )	76 (91)			
●リピーター率 (%)	目標	( )	( )	56 (基準年)	57 (25)	58 (26)	59 (26)
	実績	( )	55 ( )	52 (25)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値であり詳細は下記を参照のこと。

※期間は令和5年(1月～12月)を対象し、K P Iの数値を記載している。

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

#### 【設定にあたっての考え方】

#### ●旅行消費額

数値上段は旅行消費額の総数であり、下段は訪日観光客のみの旅行消費額である。

「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」で設定した令和6年度までの宿泊客数等の数値目標を基準に、令和5年度仙台市観光実態調査の宿泊・日帰りの比率から日帰り旅行者を算出し、1人当たり観光消費額を乗じて算出。

令和5年度仙台市観光実態調査の宿泊・日帰りの比率から日帰り旅行者を算出し、1人当たり市内観光消費額を乗じて算出。

**宿泊客 76% 日帰り客 24%** ※仙台観光国際協会独自調査の宿泊比率より

令和5年度**市内宿泊消費額平均 44,859 円、市内日帰り消費額平均 11,855 円**

<令和5年>

国内宿泊客数 5,665,685 人・・・①

日帰り客数 1,789,164 人・・・②

①×44,859 円+②×11,855 円=**275,367,502,635** (令和5年の仙台域内消費額)

<令和6・7年>

国内宿泊客数 6,000,000 人・・・① ※国内・海外 650 万人泊

日帰り客数 1,894,736 人・・・②

①×44,859 円+②×11,855 円=**291,616,095,280 円** (令和6・7年の国内消費額)

### ＜参考データ＞

- ・旅行客数：宿泊客 76% 日帰り客 24%
- ・宿泊旅行客数：仙台市「令和 5 年宿泊客数・観光客入込数」
- ・日帰り旅行客数：観光庁「旅行・観光消費動向調査」の宮城県における日帰り旅行客数  
「令和 5 年仙台市観光実態調査」の日帰り比率を乗算
- ・1 人当たり観光消費額：「令和 5 年度仙台市観光実態調査」

### 訪日客消費額（参考値：秋・冬調査のみ実施）

#### ＜令和 5 年＞

外国人観光客アンケート調査の結果より、平均消費額を算出。外国人宿泊人数に乗算し、算出。

平均消費額 164, 257 円 ③ × 外国人宿泊者数 338, 559 人 = 55, 610, 685, 663 円

#### ＜令和 6・7 年＞

③ × 500, 000 人 = 82, 128, 500, 000 円

### ●延べ宿泊者数

数値上段は宿泊者総数の人数であり、下段は訪日宿泊者のみの人数である。

令和 7 年はコロナ前 2019 年（令和元年）以上の達成に向け、2019 年（令和元年）の国内・海外合計を国内宿泊客数に設定。「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024」の計画に基づき、令和 6 年の国内・訪日宿泊合計 650 万人泊達成の目標を継続して設定する。

※目標数値については現在策定中の市及び当協会の中期ビジョンに基づき変動する可能性がある。

### ●来訪者満足度 ※上段は国内旅行者のみの満足度、下段は海外旅行者のみの満足度。

「令和 5 年度仙台市観光実態調査」における来訪満足度より「総合満足度」上位 2 つの回答を根拠に算出し、外国人観光客の満足度については、令和 5 年秋・冬 2 期の対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。目標値は令和 5 年の「来訪者満足度」が 69%、令和 6 年が 70% を目標に設定したが、令和 5 年の実績を踏まえ上方修正する。目標値は年 1% 以上の増加を目指す。

※令和 4 年より、回答項目を 5 段階評価から 7 段階評価に細分化したため、前年度の数値と誤差が生じている。

### ●リピーター率 ※上段は国内旅行者のみのリピーター率、下段は海外旅行者のみのリピーター率。

「令和 5 年度仙台市観光実態調査」より、過去 1 年間に仙台市を訪れた方のうち、仙台市に 2 回以上訪れた方の割合を算出。外国人観光客のリピーター率については、令和 5 年秋・冬 2 期の対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。令和 4 年を基準年とし、年 1% 以上の増加を目指す。

## (2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●教育旅行客数 (人)	目標			59,115 (100)	51,360 (100)	51,360 (100)	51,360 (100)
	実績	51,360 (0)	36,601 (0)	44,815 (218)			
●コンベンション 開催件数 (件)	目標			671 (136)	586 (60)	533 (60)	544 (60)
	実績	134 (1)	564 (23)	575 (23)			
●仙台観光情報 サイトアクセ ス数 (PV数)	目標			4,800,000 (96,000)	6,961,886 (359,667)	7,170,742 (370,457)	7,385,864 (381,570)
	実績	2,781,711 (-)	4,466,892 (90,522)	6,759,113 (342,540)			
●体験プログラ ムサイトアク セス数 (PV数)	目標			1,188,000 (25,000)	2,710,820 (150,109)	2,792,144 (154,612)	2,875,908 (159,250)
	実績	619,464 (-)	989,880 (20,640)	2,631,865 (145,737)			
●再訪意欲度	目標			60 (基準年)	61 (79)	62 (80)	62 (80)
	実績	94.1 (-)	59 (-)	60 (79)	(79)		

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値であり、詳細は下記参照のこと。

※期間は令和5年(1月～12月)を対象し、KPIの数値を記載している。

※なお、観光情報サイト、体験プログラムサイトのアクセス数は令和5年度の数値を記載している。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

## 【設定にあたっての考え方】

## ●教育旅行客数

上段は仙台市内の教育旅行の総数であり、下段は訪日教育旅行の数値であり内数である。  
人口減少や少子化の影響を鑑み、コロナ期間中の最大値(2021年)を達成目標に設定。

## ●国際会議開催件数(日本政府観光局(JNTO)基準)

上段はコンベンション開催件数の総数であり、下段は国際会議の数値であり内数である。  
仙台市は観光庁の「グローバルMICE都市」に選定されており、東北大学の研究機関等と連携し、  
国際会議の積極的な誘致に取り組んでいる。コロナ禍で激減した開催件数を令和5年まで3年程度  
で2019年(令和元年)同等まで回復させることを目指している。

## &lt;国内コンベンション開催件数&gt;

コロナ前の伸び率(平成30年→令和元年)を令和6年～令和8年に適用。

平成30年(656件)→令和元年(671件)伸び率平均2%

令和4年の564件を基準に、上記伸び率より令和6年～令和8年のコンベンション数を算出。

→【令和5年】 $564 \times 1.02 = 575$ 件【令和6年】 $575 \times 1.02 = 586$ 件【令和7年】 $586 \times 1.02 = 597$ 件

【令和8年】 $597 \times 1.02 = 608$ 件

令和7年の国際センター会議棟休館による影響(64件の減少)を加味。

→【令和6年】 $575 \times 1.02 = 586$ 件【令和7年】597件-64件=533件【令和8年】608件-64件=544件  
※件数は令和5年1月～12月で計算

<国際コンベンション開催件数>

J N T O国際会議統計件数より記載。

●仙台観光情報サイトアクセス数

**毎年3%以上の増加**

令和6年5,000,000PVを目標に設定していたが、アクセス数の実績を踏まえ、上方修正した。  
観光情報サイトのPV数と宿泊者数の相関関係を調査したところ、PV数が増加した1か月後に宿泊者数が増加する傾向を確認できたことから、宿泊者数予測の指標として設定する。数値はGoogle Analyticsの計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、「せんだい旅日和」「Discover Sendai」のページビュー数を記載している。

●体験プログラムサイトアクセス数

**毎年3%以上の増加**

令和6年1,300,000PVを目標に設定していたが、アクセス数の実績を踏まえ、上方修正した。  
仙台市が策定した「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」において、体験プログラムの磨き上げとプロモーション強化は重点プロジェクトの一つであることから、滞在期間中のコンテンツとしての興味関心度の指標として設定する。数値はGoogle Analyticsの計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、日本語以外の言語を選択したユーザー数を記載している。

●再訪意欲度

**年1%以上の増加**

「令和5年度仙台市観光実態調査」より「再訪意向度」上位2つの回答割合を算出。外国人観光客の再訪意欲度については、令和5年秋・冬2期の対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。令和4年を基準年とし、年1%増を目指し設定。

※令和4年より、回答項目を5段階評価から7段階評価に細分化し、「再訪意向度」上位2つの回答を算出根拠としたため、前年度の数値と誤差が生じる。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

**（1）収入**

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度	509,167,530（円）	【基本財産運用益】 2,052,084（円）
		【特定資産運用益】 51,982（円）
		【受取会費】 13,311,000（円）
		【受取補助金等】 466,023,746（円）
		【受取負担金】 11,757,723（円）
		【事業収益】 14,104,108（円）
		【雑収益】 1,866,887（円）

2022 (R 4) 年度	589,896,908 (円)	【基本財産運用益】 2,012,036 (円) 【特定資産運用益】 51,499 (円) 【受取会費】 16,081,000 (円) 【受取補助金等】 524,614,128 (円) 【受取負担金】 11,905,316 (円) 【事業収益】 34,120,831 (円) 【雑収益】 1,112,098 (円)
2023 (R 5) 年度	642,708,614 (円)	【基本財産運用益】 1,103,248 (円) 【特定資産運用益】 731 (円) 【受取会費】 16,442,000 (円) 【受取補助金等】 584,244,398 (円) 【受取負担金】 16,963,900 (円) 【事業収益】 18,448,252 (円) 【雑収益】 5,506,085 (円)
2024 (R 6) 年度	743,086,000 (円)	【基本財産運用益】 1,935,000 (円) 【特定資産運用益】 51,000 (円) 【受取会費】 17,200,000 (円) 【受取補助金等】 654,767,000 (円) 【受取負担金】 19,408,000 (円) 【事業収益】 49,724,000 (円) 【雑収益】 1,000 (円)
2025 (R 7) 年度	743,086,000 (円) ※見込み	【基本財産運用益】 1,935,000 (円) 【特定資産運用益】 51,000 (円) 【受取会費】 17,200,000 (円) 【受取補助金等】 654,767,000 (円) 【受取負担金】 19,408,000 (円) 【事業収益】 49,724,000 (円) 【雑収益】 1,000 (円)
2026 (R 8) 年度	743,086,000 (円) ※見込み	【基本財産運用益】 1,935,000 (円) 【特定資産運用益】 51,000 (円) 【受取会費】 17,200,000 (円) 【受取補助金等】 654,767,000 (円) 【受取負担金】 19,408,000 (円) 【事業収益】 49,724,000 (円) 【雑収益】 1,000 (円)

## (2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2021(R3) 年度	508,858,873(円)	【公益目的事業】 448,542,756(円) 【収益目的事業】 12,149,800(円) 【管理費】 48,166,317(円)
2022(R4) 年度	586,613,155(円)	【公益目的事業】 516,301,150(円) 【収益目的事業】 18,732,684(円) 【管理費】 51,579,321(円)
2023(R5) 年度	599,499,558(円)	【公益目的事業】 537,089,033(円) 【収益目的事業】 14,045,769(円) 【管理費】 48,364,756(円)
2024(R6) 年度	743,086,000(円)	【公益目的事業】 672,139,000(円) 【収益目的事業】 23,885,000(円) 【管理費】 47,062,000(円)
2025(R7) 年度	743,086,000(円) ※見込み	【公益目的事業】 672,139,000(円) 【収益目的事業】 23,885,000(円) 【管理費】 47,062,000(円)
2026(R8) 年度	743,086,000(円) ※見込み	【公益目的事業】 672,139,000(円) 【収益目的事業】 23,885,000(円) 【管理費】 47,062,000(円)

## (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・DMO活動に伴うマーケティング調査結果を会員向けに提供する等の会員メリットの強化と、宿泊施設や観光関連施設の未加入事業者への営業強化によって賛助会員数の拡大を図る。
- ・インターネットを通じた物販事業の拡充や仙台名物こけしなどのオリジナルコラボ商品の開発などによる自主事業収入の増大を図る。
- ・国や地方自治体の補助金など公的資金の活用と確保を図る。併せて、仙台市とDMOへの補助金等、公的資金の充当方法について、DMO推進会議など定期的な事業の進捗確認を継続的に行っている。

## 観光庁事業の採択一覧

## 【令和5年度】

- ・海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致競争力向上事業  
(事業費5,000千円 10/10補助)

## 【令和6年度】

- ・オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業  
(事業費6,000千円 1/2補助)
- ・海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業  
(事業費33,000千円 10/10補助)
- ・地域観光新発見事業(事業費8,000千円×2本 6,000千円以上 1/2補助)
- ・国際会議開催地としての魅力向上実証事業(事業費 4,964千円 10/10補助)



## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

仙台市は公益財団法人仙台観光国際協会をこれまで地域の様々な関連事業者とともに観光施策を進めてきた実績と、観光・MICEに関する専門性やノウハウを持つ法人であることから、当該地域における地域DMOとして登録したいので公益財団法人仙台観光国際協会とともに申請します。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

DMO申請に際し、地域連携DMOである株式会社インアウトバウンド東北と事前に協議し、区域内の取組についての情報共有と相互連携の他、ターゲットごとの役割分担を図ることで、効率的な観光地域づくりを目指すことで合意している。

### 【区域が重複する背景】

仙台市は東北の玄関口であることから、主にインバウンド客をターゲットとするインアウトバウンド東北でも仙台域内の観光資源を活用した取組みを展開しているため、仙台区域が重複する。

また、仙台市を含む、地域連携DMOの宮城県観光連盟と区域が重複する。

### 【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

弊法人と、インアウトバウンド東北では、インバウンド観光客に関してターゲットが重複するところはあるが、インアウトバウンド東北は、主として富裕層向けの商品造成等の取組みを展開しており、弊法人は一般的な客層やMICE関係者をターゲットした誘客を担う予定としている。また、宮城県観光連盟とは教育旅行や観光キャンペーン事業において連携しており、主にプロモーションを地域連携DMOの宮城県観光連盟が担い、地域のコンテンツ造成や受入環境整備などを当DMOが担っている。

### 【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

同一ターゲットにおいても、富裕層と一般とセグメント分けを行った取組みと、相互の連携によって、ターゲットとするエリアから効率的且つ効果的に誘客活動が実施できると考えている。また、宮城県観光連盟についてはコンテンツ造成とプロモーションという役割分担により相乗的な誘客活動が可能と考えている。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	川口 順弘
担当部署名（役職）	観光地域づくり推進課長兼DMO担当部長
郵便番号	980-0811
所在地	仙台市青葉区一番町3-3-20 東日本不動産仙台一番町ビル6階
電話番号（直通）	022-268-9568
FAX番号	022-268-9568
E-mail	<a href="mailto:y-kawaguchi@sentia-sendai.jp">y-kawaguchi@sentia-sendai.jp</a>

## 1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	仙台市
担当者氏名	渡辺 宗太
担当部署名（役職）	仙台市文化観光局・観光交流部・観光課 企画調整担当課長
郵便番号	980-8671
所在地	宮城県仙台市青葉区国分町 3 丁目 7-1
電話番号（直通）	022-214-8028
F A X 番号	022-214-8316
E - m a i l	souta_watanabe@city.sendai.jp

## 基礎情報

## 【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

宮城県仙台市

## 【設立時期】平成27年4月1日

## 【設立経緯】

仙台観光国際協会と仙台市の役割分担等をした上でDMO申請

## 【代表者】理事長 結城 由夫

## 【マーケティング責任者(CMO)】川口 順弘

## 【財務責任者(CFO)】前川 由香子

## 【職員数】72人(役員3人、正職員34人、嘱託職員28人、派遣4人、出向2人、臨時職員1人)

## 【主な収入】

仙台市補助金 584百万円、賛助会費 16百万円など(令和5年度)

## 【総支出】

公益目的事業 537百万円、収益目的事業 14百万円、管理費47百万円(令和5年度)

## 【連携する主な事業者】

・東北観光推進機構(広域連携DMO)、インアウトバウンド東北(地域連携DMO)、宮城県観光連盟(地域連携DMO)、仙台商工会議所、仙台市中心部商店街活性化協議会、仙台国際空港(株)、仙台市交通局、宮城県バス協会、仙台ホテル総支配人協議会、秋保温泉旅館組合、作並温泉旅館組合、他観光関連団体、商工団体、宿泊事業者、観光関連事業者、農業関連事業者、交通事業者

## KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月1日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	( )	( )	257,299 (基準年)	373,744 (82,128)	373,744 (82,128)	373,744 (82,128)
	実績	未計測 (未計測)	206,086 (未計測)	330,978 (55,610)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	6,242 (334)	6,500 (500)	6,500 (500)	6,500 (500)
	実績	3,631 (1.8)	4,780 (34)	6,004 (338)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	( )	( )	68 (基準年)	77 (91)	78 (92)	79 (92)
	実績	95 (未計測)	67 (未計測)	76 (91)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	( )	( )	56 (基準年)	57 (25)	58 (26)	59 (26)
	実績	(未計測)	55 (未計測)	52 (25)	—	—	—

## 戦略

## 【主なターゲット】

国内:首都圏及び東北圏域からの観光客及び  
ビジネス客

海外:タイ・台湾を中心とした訪日外国人観光客

## 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・仙台の地域ごとの特徴や、多種多様な魅力を最大限活用する地域ブランディング
- ・仙台DMPなどを活用したデータに基づく、プロモーションの実施 など

## 【観光地域づくりのコンセプト】

選ばれる街仙台 ～交流人口で潤う都市～

## 具体的な取組

## 【体制の整備】

- ・観光地域づくり推進課の新設

## 【観光資源の磨き上げ】

- ・エリアごとに地域の課題と魅力を議論するブランディングの実施。

## 【受入環境整備】

- ・グローバルMICE都市としての、海外M・Iコンテンツの整備
- ・外国人対面アンケート調査による外国人観光客の動態把握
- ・事業者の稼働力を高める「インバウンドセミナー」の開催など

## 【情報発信・プロモーション】

- ・「せんだい旅日和」での情報発信(令和5年675万PV)
- ・SNS(Instagram)開設
- ・「仙台旅先体験コレクション」での体験プログラム掲載

## 【その他】

- ・仙台観光DMPなどを活用した、デジタルマーケティングの推進
- ・マーケティングレポートは4半期に1回作成、HPIに掲載。



JSTSD研修の受講を終了し、協会内における持続可能な観光地域づくりの啓発を推進している。



令和4年度から地域事業者、仙台市、DMOなど計7回協議した地域の観光ブランディング定着に向け、来訪者への対面アンケート調査でブランドイメージを把握、その後、ブランドイメージにつながるロゴマークを作成した。



海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致競争力向上事業の採択を受け、仙台の食と文化を組合せたM-Iコンテンツの作成に着手した。